

平成21年度

沖縄県病院事業会計決算審査意見書

沖 縄 県 監 査 委 員

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

沖縄県監査委員 又吉 春三

沖縄県監査委員 幸地 啓子

沖縄県監査委員 嘉陽 宗儀

沖縄県監査委員 具志 孝助

平成21年度沖縄県病院事業会計の決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成21年度沖縄県病院事業会計の決算について審査を実施したので、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	
1	審査の対象	1
2	審査の手続き	1
第2	審査の結果及び意見	
1	審査結果	2
2	審査意見	4
第3	決算の概要	
1	事業の概要について	6
	(1) 病院等の設置状況	6
	(2) 当初業務予定量と実績	8
	(3) 施設の利用状況	9
	(4) 建設改良工事等	10
	(5) 職員数	11
2	決算諸表の概要について	12
	(1) 決算報告書	12
	(2) 損益計算書	14
	(3) 剰余金計算書	22
	(4) 欠損金処理計算書	23
	(5) 貸借対照表	24
3	資金収支について	28
付 表		
別表1	経営分析比率表	29
別表2	病院別比較損益計算書	30
別表3	病院別経営指標	33
別表4-1	資金運用表	34
別表4-2	正味運転資本増減明細書	34
別表5	資金収支表	35

第1 審査の概要

1 審査の対象

地方公営企業法第30条第2項の規定により、平成22年8月2日付け総財第736号をもって審査に付された平成21年度沖縄県病院事業会計の決算書及び決算附属書類について、下記7箇所の实地審査等も含め、審査を実施した。

記

沖縄県立北部病院

沖縄県立中部病院

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

沖縄県立宮古病院

沖縄県立八重山病院

沖縄県立精和病院

県立病院課

2 審査の手続き

審査に当たっては、病院事業の運営が常に経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されているかどうかについて特に意を用い、決算書及び決算附属書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証した。

審査は、会計伝票、会計帳簿、証拠書類との照合を行うなど必要と認められる審査手続きを適用したほか、必要に応じ資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、例月現金出納検査及び定期監査の結果も踏まえ実施した。

第2 審査の結果及び意見

1 審査結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法（以下「法」という。）等の関係法規に準拠して作成され、その計数は正確であり、平成21年度の経営成績及び平成22年3月31日現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

(1) 経営成績

平成21年度の決算について経営成績を見ると、表1のとおりである。

病院事業収益は、前年度に比較して24億6,557万4,264円（5.9%）増加している。その主な要因は、患者1人あたりの診療単価の増等により医業収益が9億5,039万5,261円増加したこと、一般会計からの繰入金が増等により医業外収益が14億1,361万2,648円増加したことによるものである。

病院事業費用は、前年度に比較して4億4,400万4,434円（1.0%）減少している。その主な要因は、薬品費縮減プロジェクトの実施による材料費の減等により医業費用が3億7,834万6,693円減少したこと、低利の企業債への借り換えによる支払利息の減により医業外費用が1億5,230万9,996円減少したことによるものである。

その結果、病院事業収益から病院事業費用を差し引いた当年度の純利益は、6億8,715万5,506円となっており、当年度未処理欠損金（累積赤字）は231億9,120万3,022円となっている。

本業における医業損失は29億8,027万3,980円で、前年度と比較して13億2,874万1,954円（30.8%）減少している。医業費用に対する医業収益の割合は92.8%で、前年度の89.7%に比べて3.1ポイント改善している。

(2) 財政状態

平成21年度の財政状態は、表2のとおりである。

資産は、固定資産が減少し、流動資産は増加している。

負債は、一時借入金の減により流動負債が減少し、負債合計は減少している。

資本は、資本剰余金の増により、資本合計は増加している。

流動資産が流動負債を上回っているため、前年度に引き続き不良債務は発生していない。

流動比率は、前年度の142.2%から187.3%へと上昇しており、資金繰りは大幅に改善している。

自己資本構成比率は、前年度の19.9%から26.2%へと改善している。

表1 経営成績

科目	平成21年度		平成20年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	増減額	増減率
区分	円	%	円	%	円	%
病院事業収益合計	44,034,395,889	100.0	41,568,821,625	100.0	2,465,574,264	5.9
医業収益	38,472,273,072	87.4	37,521,877,811	90.3	950,395,261	2.5
(入院収益)	28,177,035,362	64.0	27,595,732,834	66.4	581,302,528	2.1
(外来収益)	8,105,943,995	18.4	7,910,417,597	19.0	195,526,398	2.5
(診療所収益)	600,185,292	1.4	557,160,478	1.3	43,024,814	7.7
(その他医業収益)	1,589,108,423	3.6	1,458,566,902	3.5	130,541,521	8.9
医業外収益	5,435,786,168	12.3	4,022,173,520	9.7	1,413,612,648	35.1
一般会計繰入金	4,357,314,809	9.9	2,878,442,000	6.9	1,478,872,809	51.4
その他	1,078,471,359	2.4	1,143,731,520	2.8	△ 65,260,161	△ 5.7
特別利益	126,336,649	0.3	24,770,294	0.1	101,566,355	410.0
病院事業費用合計	43,347,240,383	100.0	43,791,244,817	100.0	△ 444,004,434	△ 1.0
医業費用	41,452,547,052	95.6	41,830,893,745	95.5	△ 378,346,693	△ 0.9
(給与費)	24,810,095,338	57.2	24,776,469,751	56.6	33,625,587	0.1
(材料費)	8,859,592,275	20.4	9,128,033,192	20.8	△ 268,440,917	△ 2.9
(経費)	5,336,560,967	12.3	5,414,576,393	12.4	△ 78,015,426	△ 1.4
(減価償却費)	2,283,078,473	5.3	2,351,943,265	5.4	△ 68,864,792	△ 2.9
(資産減耗費)	57,892,541	0.1	55,484,040	0.1	2,408,501	4.3
(研究研修費)	105,327,458	0.2	104,387,104	0.2	940,354	0.9
医業外費用	1,712,548,383	4.0	1,864,858,379	4.2	△ 152,309,996	△ 8.2
(支払利息)	778,681,515	1.8	938,936,818	2.1	△ 160,255,303	△ 17.1
(その他)	933,866,868	2.2	925,921,561	2.1	7,945,307	0.9
特別損失	182,144,948	0.4	95,492,693	0.2	86,652,255	90.7
当年度純利益	687,155,506	-	△ 2,222,423,192	-	2,909,578,698	△ 130.9
前年度繰越欠損金	23,878,358,528	-	21,655,935,336	-	2,222,423,192	10.3
当年度未処理欠損金	23,191,203,022	-	23,878,358,528	-	△ 687,155,506	△ 2.9

区分	円	%	円	%	円	%
医業損失	2,980,273,980	-	4,309,015,934	-	△ 1,328,741,954	△ 30.8

(注) 医業損失 = 医業費用 - 医業収益

表2 財政状態

区分		平成21年度	平成20年度	対前年度比較	
		金額・比率	金額・比率	増減額	増減率
		円	円	円	%
資産合計	A	60,398,316,943	60,077,168,648	321,148,295	0.5
(固定資産)		48,812,637,814	49,362,979,999	△ 550,342,185	△ 1.1
(流動資産)	B	10,746,500,558	9,757,860,026	988,640,532	10.1
(うち繰越財源)	C	299,822,340	1,400,000,000	△ 1,100,177,660	△ 78.6
負債合計		12,810,616,312	13,881,750,336	△ 1,071,134,024	△ 7.7
(流動負債)	D	5,737,217,493	6,863,847,807	△ 1,126,630,314	△ 16.4
資本合計		47,587,700,631	46,195,418,312	1,392,282,319	3.0
(自己資本金)	E	1,878,584,732	1,878,584,732	0	-
(剰余金)	F	13,938,377,397	10,082,612,064	3,855,765,333	38.2
(借入資本金)		31,770,738,502	34,234,221,516	△ 2,463,483,014	△ 7.2
不良債務	G = D - B + C	-	-	-	-
(不良債務比率)	G / 医業収益	-	-	-	-
(流動比率)	B / D	187.3	142.2	-	45.1
(自己資本構成比率)	(E + F) / A	26.2	19.9	-	6.3

2 審査意見

県立病院は、救命救急医療、高度・特殊医療、離島・へき地医療等を担うとともに、医師、看護師等の安定確保、医療機器の充実を図るなど医療水準の向上に努め、多様化する県民の医療ニーズに対応してきた。

平成21年度決算は、6億8,715万5,506円の単年度純利益を計上し、その結果、当年度末の累積欠損金は、前年度に比較して2.9%減少した。しかしながら、当年度末の累積欠損金は231億9,120万3,022円と多額となっており、依然として、きわめて厳しい経営状況が続いている。

県立病院が今後とも公的医療機関としての役割を果たすためには、当面の課題である約318億円の企業債残高の削減と、約70億円の公立病院特例債等長期債務の解消等に努めるなど、公営企業として経営体質の改善と経営力の向上を図り、より企業性を発揮した事業運営に努め、健全経営を確保することが求められている。

県立病院を取り巻く状況は非常に厳しいものとなっているが、医療は、県民の生命及び健康を守り、生活の安心を支える重要な機能であり、地域において必要とされる医療提供体制を確保することは県の責務であることから、病院運営にあたっては次の事項に留意し、適切な措置を講じるよう要望する。

(1) 経営改善の取組みについて

県立病院が、自らの役割に基づき、県民に対して良質で安定した医療を提供していくためには、経営の健全性が確保されていることが不可欠である。

そのため、医業収益の確保、医業費用の縮減、資金収支の改善など、経営の健全化に向けて実効性のある対策を講ずる必要がある。

ア 医業収支の改善

医業収益確保については、診療報酬制度に的確に対応した各種加算の取得等に取り組んだ結果、患者1人あたりの診療単価が入院・外来ともに増加している。

医業費用縮減については、給与制度の見直し等により、医業収益に対する職員給与費の割合は64.1%と、前年度に比べて1.6ポイント低下している。

また、材料費については、薬品、診療材料の一括購入や、薬品費縮減プロジェクトの実施により経費が節減されており、医業収益に対する医療材料費の割合は22.3%と、前年度に比較して1.2ポイント低下している。

医業収支の改善に向けて、様々な取組みを行っているが、医業損失がなお多額であることから、今後とも、診療報酬制度に的確に対応した各種加算の取得等により、診療単価の向上を図るなど診療報酬の増収等収益の確保に努めるとともに、費用縮減に向けた各種プロジェクトの積極的な推進や、業務の効率化等により経費の節減を図るなど、より一層医業収支の改善に努める必要がある。

イ 未収金対策

個人負担分医業未収金の縮減に向けて、各部門の連携を図るほか、未収金発生初期段階における債権も含めて、債権回収サービス業者へ委託を行うなど、その取り組みを強化してきた。

しかしながら、平成21年度末における個人負担分の医業未収金残高は、18億5,182万8,005円となり、前年度に比較して5,671万1,043円(3.2%)増加している。

今後とも、未収金の新規発生抑制に努めるとともに、債務者の実態に応じた適切な債権管理を行うなど、未収金の解消に向けた組織的な取り組みを強化する必要がある。

(2) 医師等医療スタッフの確保等について

離島・へき地医療、救命救急医療、高度・特殊医療等、県民の医療ニーズに対応し、良質で安定した医療サービスを提供するためには、医師・看護師等を安定的に確保する必要がある。

医師の確保については、大学など関係機関との連携を強化するとともに、医師臨床研修制度の充実に取り組んでいるところである。

看護師の確保については、幅広い年齢層からの人材の確保を図るとともに、7対1看護体制の導入による看護体制の充実等を進めているところである。

県立病院の一部において、医師や看護師の不足に伴い一部診療科目の診療制限や、病床の一部を休床している状況にあることから、良質な医療を提供するために、引き続き、医師及び看護師の安定的な確保に向けた諸方策を講ずる必要がある。

(3) 「県立病院経営再建計画」等について

平成21年度は、「県立病院経営再建計画(平成21~23年度)」や、「公立病院改革プラン(平成21~23年度)」の初年度であり、不良債務の解消、資金不足の解消及び経常収支の黒字化を目標に、経営再建に取り組んできた。

その結果、入院・外来収益の増、一般会計からの繰入金の増、公立病院特例債の活用及び一般会計からの長期貸付により、不良債務の解消、及び経常収支の黒字化を達成している。資金不足については、当年度末の一時借入金も、前年度に比較して18億2,000万円(62.8%)減少しているものの、未だ解消に至っていない。

当年度は、経常収支が黒字化するなど、経営改善に努めてきたところであるが、今後とも、「県立病院経営再建計画」等に基づき、経営の再建に向けた取り組みを、積極的に進める必要がある。

第3 決算の概要

1 事業の概要について

(1) 病院等の設置状況

本県の病院事業は、県民の健康保持に必要な医療等を提供することを目的として、表3のとおり沖縄県病院事業の設置等に関する条例（昭和47年条例第35号）第3条第2項の規定により設置された6病院及び同条第3項の規定により設置された20箇所の附属診療所のうち16箇所の附属診療所を運営してきた。

休止又は廃止に係る4診療所のうち、伊原間については親病院等から巡回診療を実施している。

表3 県立病院及び附属診療所の状況

病院名	病床数	附属診療所	休止又は廃止の附属診療所
北部病院	327	伊平屋、伊是名、安田、古宇利	安田、古宇利
中部病院	550	津堅	
南部医療センター・こども医療センター	434	久高、渡嘉敷、座間味、阿嘉、渡名喜、粟国、北大東、南大東	
宮古病院	393	池間、多良間	池間
八重山病院	350	伊原間、大原、西表西部、小浜、波照間	伊原間
精和病院	300		
6病院	2,354床	20箇所	4箇所

平成20年10月1日現在における本県及び全国の医療施設の状況は、表4及び表5のとおりである。

本県の医療施設に占める県立病院等の割合は、病院数が7.4%、病床数が12.4%となっている。全国の医療施設に占める都道府県立病院の割合は、病院数が3.1%、病床数が4.5%となっており、本県は、全国に比較して県立病院が大きな役割を果たしている。

表4 県内医療施設における県立病院等の状況

(各年10月1日現在)

区 分	病 院				診 療 所			
	施設数		病床数		施設数		病床数	
	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度
県内医療施設	94	94	19,346	19,579	806	792	1,629	1,770
うち県立病院等	7	7	2,394	2,394	16	16	0	0
県立病院等の占める割合(%)	7.4	7.4	12.4	12.2	2.0	2.0	0.0	0.0
うち市町村立病院等	1	1	470	470	12	11	9	9
市町村立病院等の占める割合(%)	1.1	1.1	2.4	2.4	1.5	1.4	0.6	0.5

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

(注) 「県立病院等」には公立久米島病院、「市町村立病院等」には地方独立行政法人那覇市立病院が含まれる。

表5 全国の医療施設における県立病院等の状況

(平成20年10月1日現在)

区 分	病 院		診 療 所	
	施設数	病床数	施設数	病床数
全国医療施設	8,794	1,609,403	99,083	146,568
うち都道府県立病院等	270	72,948	256	151
都道府県立病院等の占める割合(%)	3.1	4.5	0.3	0.1
うち市町村立病院等	729	158,587	3,165	2,684
市町村立病院等の占める割合(%)	8.3	9.9	3.2	1.8

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

(2) 当初業務予定量と実績

各病院においては、事業年度の当初において経営活動の基本的目標として業務の予定量を定めることとしており、病院事業では、患者数を主な業務予定量として設定している。

平成21年度において予定した患者数及び決算における実績は、表6のとおりである。

入院患者数は、全体では予定量より49,209人(6.8%)下回っている。

精和病院を除く全病院で実績が予定量を下回っている。

外来患者数は、全体では予定量より21,942人(2.6%)下回っている。

宮古病院を除く全病院において実績が予定量を下回っている。

入院・外来患者の合計では、全体で予定量より71,151人(4.6%)下回っている。

全病院で実績が予定量を下回っている。

表6 病院別当初予定量と実績の比較(平成21年度)

(単位：人、%)

区分 病院名	入院			外来			合計		
	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減
北部病院	105,978	97,348	△ 8,630 (△8.1)	136,925	124,678	△ 12,247 (△8.9)	242,903	222,026	△ 20,877 (△8.6)
中部病院	189,317	177,728	△ 11,589 (△6.1)	206,208	197,174	△ 9,034 (△4.4)	395,525	374,902	△ 20,623 (△5.2)
医療センター	152,159	134,685	△ 17,474 (△11.5)	155,016	154,343	△ 673 (△0.4)	307,175	289,028	△ 18,147 (△5.9)
宮古病院	96,448	92,689	△ 3,759 (△3.9)	102,698	105,981	3,283 (3.2)	199,146	198,670	△ 476 (△0.2)
八重山病院	92,098	83,984	△ 8,114 (△8.8)	133,423	130,528	△ 2,895 (△2.2)	225,521	214,512	△ 11,009 (△4.9)
精和病院	82,892	83,249	357 (0.4)	29,715	27,648	△ 2,067 (△7.0)	112,607	110,897	△ 1,710 (△1.5)
診療所計	0	0	0	65,653	67,344	1,691 (2.6)	65,653	67,344	1,691 (2.6)
合計	718,892	669,683	△ 49,209 (△6.8)	829,638	807,696	△ 21,942 (△2.6)	1,548,530	1,477,379	△ 71,151 (△4.6)

(注) () 書きの数字は増減率である。

年度別当初予定量と実績の過去3ヶ年間の状況は、表7のとおりである。

表7 年度別当初予定量と実績の動向

(単位：人、%)

区分 年度	入院			外来			合計		
	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減
平成19年度	729,061	715,750	△ 13,311 (△1.8)	807,872	851,297	43,425 (5.4)	1,536,933	1,567,047	30,114 (2.0)
平成20年度	727,807	698,953	△ 28,854 (△4.0)	835,822	837,335	1,513 (0.2)	1,563,629	1,536,288	△ 27,341 (△1.7)
平成21年度	718,892	669,683	△ 49,209 (△6.8)	829,638	807,696	△ 21,942 (△2.6)	1,548,530	1,477,379	△ 71,151 (△4.6)

(3) 施設の利用状況

施設の利用状況を見ると、平成21年度の入院患者延数は669,683人で、前年度に比較して29,270人(4.2%)減少している。外来患者延数は807,696人で、前年度に比較して29,639人(3.5%)減少している。

入院と外来を合わせた患者延数は1,477,379人で、前年度に比較して58,909人(3.8%)の減少となっている。

患者数が減少した主な要因は、南部医療センター・こども医療センターにおける休床による入院患者数の減、中部病院における休床による入院患者数の減、及び北部病院の内科診療制限による外来患者の減等によるものである。

病床利用率は、77.9%で、前年度の81.3%に比較して3.4ポイント下回っている。

外来入院患者比率は120.6%で、前年度の119.8%に比較して0.8ポイント上回っている。

表8 病院別施設の利用状況

病院名	年度	入院			外来患者延数 (B)	計 (A)+(B)	1日平均患者数			外来入院患者比率 (B)/(A)
		患者延数 (A)	病床数	病床利用率			入院	外来	計	
北部病院	平成21年度	97,348	327	81.6	138,238	235,586	267	574	841	142.0
	平成20年度	100,639	327	84.3	145,908	246,547	276	603	879	145.0
	前年度比較	△ 3,291	0	△ 2.7	△ 7,670	△ 10,961	△ 9	△ 29	△ 38	△ 3.0
中部病院	平成21年度	177,728	550	88.5	200,117	377,845	487	830	1,317	112.6
	平成20年度	185,628	550	92.5	209,375	395,003	509	865	1,374	112.8
	前年度比較	△ 7,900	0	△ 4.0	△ 9,258	△ 17,158	△ 22	△ 35	△ 57	△ 0.2
南部医療センター・こども医療センター	平成21年度	134,685	434	85.0	182,965	317,650	369	759	1,128	135.8
	平成20年度	146,492	434	92.5	187,842	334,334	401	776	1,177	128.2
	前年度比較	△ 11,807	0	△ 7.5	△ 4,877	△ 16,684	△ 32	△ 17	△ 49	7.6
宮古病院	平成21年度	92,689	393	64.6	112,011	204,700	254	465	719	120.8
	平成20年度	93,419	393	65.1	118,650	212,069	256	490	746	127.0
	前年度比較	△ 730	0	△ 0.5	△ 6,639	△ 7,369	△ 2	△ 25	△ 27	△ 6.2
八重山病院	平成21年度	83,984	350	65.7	146,717	230,701	230	609	839	174.7
	平成20年度	89,291	350	69.9	147,569	236,860	245	610	855	165.3
	前年度比較	△ 5,307	0	△ 4.2	△ 852	△ 6,159	△ 15	△ 1	△ 16	9.4
精和病院	平成21年度	83,249	300	76.0	27,648	110,897	228	115	343	33.2
	平成20年度	83,484	300	76.2	27,991	111,475	229	116	345	33.5
	前年度比較	△ 235	0	△ 0.2	△ 343	△ 578	△ 1	△ 1	△ 2	△ 0.3
合計	平成21年度	669,683	2,354	77.9	807,696	1,477,379	1,835	3,351	5,186	120.6
	平成20年度	698,953	2,354	81.3	837,335	1,536,288	1,915	3,460	5,375	119.8
	前年度比較	△ 29,270	0	△ 3.4	△ 29,639	△ 58,909	△ 80	△ 109	△ 189	0.8

(注) 外来患者数は、診療所の外来患者数を含む。

(4) 建設改良工事等

建設工事については該当ない。

改良工事については、中部病院駐車場出口ゲート増設工事及び精和病院ナースコール設備取替工事を実施した。

保存工事については、南部医療センター・こども医療センターの全身用X線CT装置管球交換他33点を整備した。

(5) 職員数

表9 定数と現員

年度	区分	医師	看護部門職員	医療技術員	事務職員及び その他職員	計
		人	人	人	人	人
平成21年度	定数	303	1,477	290	222	2,292
	現員	283	1,502	289	230	2,304
	欠員	20	△ 25	1	△ 8	△ 12
平成20年度	定数	302	1,481	283	226	2,292
	現員	298	1,466	278	231	2,273
	欠員	4	15	5	△ 5	19
対前年度 比較増減	定数	1	△ 4	7	△ 4	0
	現員	△ 15	36	11	△ 1	31
	欠員	16	△ 40	△ 4	△ 3	△ 31

(注) 診療所分を含む。

表10 病床100床当たり職員数(常時雇用する臨時職員を含む。)

年度	医師	看護部門職員	医療技術員	事務職員及び その他職員	計
	人	人	人	人	人
平成21年度	16.4	68.7	10.4	12.9 (7.3)	108.4
平成20年度	19.9	66.9	10.1	16.7 (10.6)	113.7
対前年度 比較増減	△ 3.5	1.8	0.3	△ 3.8 (△3.3)	△ 5.3
平成20年度 全国平均	13.8	67.2	10.0	16.9 (7.7)	107.9

(注) 1. 本表における職員数は、年度末職員数に常時雇用する臨時職員(嘱託員)の換算数を加えたものである。

2. 四捨五入との関係において、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

3. 「事務職員及びその他職員」欄の()内の数字は、事務職員の再掲である。

当年度末現在、職員の現員は2,304人で、定数2,292人に対して12人の過員となっている。前年度と比較して現員合計では31人の増、医師は283人で前年度と比較して15人の減、看護部門職員は1,502人で前年度と比較して36人の増となっている。

また、病床100床当たり職員数(常時雇用する臨時職員を含む。)は、医師が16.4人で前年度と比較して3.5人の減、看護部門職員は68.7人で前年度と比較して1.8人の増となり、全職員計では108.4人で前年度と比較して5.3人の減となっている。

2 決算諸表の概要について

(1) 決算報告書

予算額に対する決算額及び内容は、次のとおりである。

ア 収益的収入及び支出

表11 収益的収入の状況

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収入率 (B) / (A)
	円	円		%
第1款 病院事業収益	45,241,387,000	44,099,946,838 (65,550,949)	△ 1,141,440,162	97.5
第1項 医業収益	39,919,596,000	38,512,747,708 (40,474,636)	△ 1,406,848,292	96.5
第2項 医業外収益	5,301,800,000	5,460,852,627 (25,066,459)	159,052,627	103.0
第3項 特別利益	19,991,000	126,346,503 (9,854)	106,355,503	632.0

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮受消費税及び地方消費税で内数である。

表12 収益的支出の状況

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額	執行率 (B) / (A)
	円	円		%
第1款 病院事業費用	45,359,582,000	42,976,661,337 (287,551,525)	2,382,920,663	94.7
第1項 医業費用	44,006,928,000	41,739,772,602 (287,225,550)	2,267,155,398	94.8
第2項 医業外費用	1,138,434,000	1,054,507,812 (90,000)	83,926,188	92.6
第3項 特別損失	204,220,000	182,380,923 (235,975)	21,839,077	89.3
第4項 予備費	10,000,000	0 (0)	10,000,000	0.0

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 収益的収入の予算額452億4,138万7,000円に対する決算額は440億9,994万6,838円であり、11億4,144万162円の減で、収入率は97.5% (前年度100.4%) である。

(イ) 収益的支出の予算額453億5,958万2,000円に対する決算額は429億7,666万1,377円であり、23億8,292万663円の不用額を生じ、執行率は94.7% (前年度96.4%) である。

イ 資本的収入及び支出

表13 資本的収入の状況

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収入率 (B)/(A)
	円	円	円	%
第1款 資本的収入	5,805,108,000	5,693,471,975	△ 111,636,025	98.1
第1項 企業債	684,900,000	562,500,000	△ 122,400,000	82.1
第2項 他会計負担金	3,781,147,000	3,784,630,375	3,483,375	100.1
第3項 他会計補助金	1,317,358,000	1,317,358,000	0	100.0
第4項 国庫補助金	21,703,000	19,710,000	△ 1,993,000	90.8
第5項 固定資産売却代金	0	0	0	—
第6項 寄附金	0	9,273,600	9,273,600	皆増

表14 資本的支出の状況

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
	円	円	円	円	%
第1款 資本的支出	5,805,108,000	5,392,684,887 (112,652,999)	299,822,340	112,600,773	92.9
第1項 建設改良費	2,778,938,000	2,366,701,873 (112,652,999)	299,822,340	112,413,787	85.2
第2項 企業債償還金	3,026,169,000	3,025,983,014	0	185,986	100.0
第3項 無形固定資産	1,000	0	0	1,000	皆減
第4項 国庫補助返還金	0	0	0	0	—

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 資本的収入の予算額58億510万8,000円に対する決算額は56億9,347万1,975円であり、1億1,163万6,025円の減で、収入率は98.1% (前年度99.7%) である。

これは主として、企業債の未借入額1億2,240万円があったことによる。

(イ) 資本的支出の予算額58億510万8,000円に対する決算額は53億9,268万4,887円、翌年度繰越額2億9,982万2,340円で、不用額1億1,260万773円を生じ、執行率は92.9% (前年度79.7%) である。

これは、建設改良費の翌年度繰越額が2億9,982万2,340円生じたことによる。

(2) 損益計算書

ア 経営成績

事業の経営成績は、表15のとおりである。

表15 比較損益計算書

区 分 科 目	平成21年度		平成20年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
医 業 収 益	38,472,273,072	87.4	37,521,877,811	90.2	950,395,261	2.5
入院収益	28,177,035,362	64.0	27,595,732,834	66.4	581,302,528	2.1
外来収益	8,105,943,995	18.4	7,910,417,597	19.0	195,526,398	2.5
診療所収益	600,185,292	1.4	557,160,478	1.3	43,024,814	7.7
その他医業収益	1,589,108,423	3.6	1,458,566,902	3.5	130,541,521	8.9
医 業 費 用	41,452,547,052	95.6	41,830,893,745	95.5	△ 378,346,693	△ 0.9
給与費用	24,810,095,338	57.3	24,776,469,751	56.6	33,625,587	0.1
材料費用	8,859,592,275	20.4	9,128,033,192	20.8	△ 268,440,917	△ 2.9
経費	5,336,560,967	12.3	5,414,576,393	12.4	△ 78,015,426	△ 1.4
減価償却費	2,283,078,473	5.3	2,351,943,265	5.4	△ 68,864,792	△ 2.9
資産減耗費	57,892,541	0.1	55,484,040	0.1	2,408,501	4.3
研究研修費	105,327,458	0.2	104,387,104	0.2	940,354	0.9
医 業 損 失	2,980,273,980	-	4,309,015,934	-	△ 1,328,741,954	△ 30.8
医 業 外 収 益	5,435,786,168	12.3	4,022,173,520	9.7	1,413,612,648	35.1
受取利息配当金	2,718,273	0.0	0	0.0	2,718,273	皆増
他会計補助金	1,673,079,809	3.8	854,997,000	2.1	818,082,809	95.7
国庫補助金	536,365,160	1.2	555,929,823	1.3	△ 19,564,663	△ 3.5
負担金交付金	2,684,235,000	6.1	2,023,445,000	4.9	660,790,000	32.7
その他医業外収益	539,387,926	1.2	587,801,697	1.4	△ 48,413,771	△ 8.2
医 業 外 費 用	1,712,548,383	4.0	1,864,858,379	4.2	△ 152,309,996	△ 8.2
支払利息	778,681,515	1.8	938,936,818	2.1	△ 160,255,303	△ 17.1
繰延勘定償却	131,744,828	0.3	126,799,103	0.3	4,945,725	3.9
雑損失	802,122,040	1.9	799,122,458	1.8	2,999,582	0.4
経 常 利 益	742,963,805	-	△ 2,151,700,793	-	2,894,664,598	△ 134.5
特 別 利 益	126,336,649	0.3	24,770,294	0.1	101,566,355	410.0
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	-
過年度損益修正益	125,833,649	0.3	24,760,770	0.1	101,072,879	408.2
その他特別利益	503,000	0.0	9,524	0.0	493,476	5,181.4
特 別 損 失	182,144,948	0.4	95,492,693	0.2	86,652,255	90.7
固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	-
過年度損益修正損	182,144,948	0.4	95,492,693	0.2	86,652,255	90.7
病 院 事 業 収 益	44,034,395,889	100.0	41,568,821,625	100.0	2,465,574,264	5.9
病 院 事 業 費 用	43,347,240,383	100.0	43,791,244,817	100.0	△ 444,004,434	△ 1.0
当 年 度 純 利 益	687,155,506	-	△ 2,222,423,192	-	2,909,578,698	△ 130.9
前 年 度 繰 越 欠 損 金	23,878,358,528	-	21,655,935,336	-	2,222,423,192	10.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	23,191,203,022	-	23,878,358,528	-	△ 687,155,506	△ 2.9

(注1) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

当年度の経営成績は、病院事業収益440億3,439万5,889円に対し、病院事業費用は433億4,724万383円で、差引き6億8,715万5,506円の純利益となっている。

これを項目別にみると、医業収益384億7,227万3,072円に対し、医業費用は414億5,254万7,052円で、差引き29億8,027万3,980円の医業損失となっている。

医業外収益54億3,578万6,168円に対して、医業外費用は17億1,254万8,383円で、差引き37億2,323万7,785円の利益となり、これと医業損失を合計した経常利益は7億4,296万3,805円となっている。

特別利益1億2,633万6,649円に対して、特別損失は1億8,214万4,948円で、差引き5,580万8,299円の損失となっている。これと経常利益を合計した額6億8,715万5,506円が、当年度の純利益となっている。

当年度は収益が大きく増加した一方、費用が減少したことから、純利益は、前年度の純損失22億2,242万3,192円に比較して29億957万8,698円改善し、前年度繰越欠損金と合わせた当年度未処理欠損金は、231億9,120万3,022円となっている。

病院事業費用に対する病院事業収益の割合(総収支比率)は101.6%で、前年度の94.9%より改善している。

医業費用に対する医業収益の割合(医業収支比率)は92.8%で、前年度の89.7%より改善している。

各科目の内容は次のとおりである。

(ア) 医業収益

入院収益は、患者数が減少したものの、患者1人あたりの診療単価の増等により、前年度に比較して5億8,130万2,528円(2.1%)増加している。

総収益に占める入院収益の割合は、当年度64.0%(前年度66.4%)となっており、入院収益の動向が収益全体に与える影響は大きい。

外来収益は、患者数が減少したものの、患者1人あたりの診療単価の増等により、前年度に比較して1億9,552万6,398円(2.5%)増加している。

診療所収益は、4,302万4,814円(7.7%)増加している。

その他医業収益は、1億3,054万1,521円(8.9%)増加している。

これらの結果、医業収益は384億7,227万3,072円となり、前年度に比較して9億5,039万5,261円(2.5%)増加している。

(イ) 医業外収益

他会計補助金が大幅に増加したことから、54億3,578万6,168円となり、前年度に比較して14億1,361万2,648円(35.1%)増加している。

(ウ) 医業費用

給与費は、給料、手当等が減少したものの、報酬の増等により、前年度に比較して3,362万5,587円(0.1%)増加している。

材料費は、薬品費縮減プロジェクトの実施等により、2億6,844万917円(2.9%)減少している。

経費は、燃料費、委託料等の減により、7,801万5,426円(1.4%)減少している。

減価償却費は、6,886万4,792円(2.9%)減少している。

これらの結果、医業費用は414億5,254万7,052円となり、前年度に比較して3億7,834万6,693円(0.9%)減少している。

(エ) 医業外費用

企業債利息及び一時借入金利息の減により、支払利息が1億6,025万5,303円(17.1%)減少したことにより、17億1,254万8,383円となり、前年度に比較して1億5,230万9,996円(8.2%)減少している。

(オ) 純利益及び未処理欠損金について

当年度の純利益は6億8,715万5,506円で、前年度の純損失22億2,242万3,192円に比較して29億957万8,698円改善している。

当年度未処理欠損金は231億9,120万3,022円となっている。

イ 一般会計からの繰入金

表16 一般会計からの繰入状況

区分	繰入の根拠等	平成21年度		平成20年度	対前年度比較	
		繰入基準額	決算額 (A)	決算額 (B)	(A) - (B)	増減率
医業収益	他会計 負担金 法第17条の2第1項第1号 救急医療確保経費	1,175,939,000	1,175,939,000	1,166,960,000	8,979,000	0.8
	小計	1,175,939,000	1,175,939,000	1,166,960,000	8,979,000	0.8
医業外収益	負担金交付金 法第17条の2第1項第2号					
	1. 高度医療増こう費	505,802,000	505,802,000	285,195,000	220,607,000	77.4
	2. 結核増こう費	85,394,000	85,394,000	75,716,000	9,678,000	12.8
	3. 精神増こう費	904,901,000	904,901,000	723,893,000	181,008,000	25.0
	4. 附属診療所増こう費	20,963,000	20,963,000	19,151,000	1,812,000	9.5
	5. 借入資本金利子償還金	520,660,000	520,660,000	355,402,000	165,258,000	46.5
	6. へき地医療増こう費	36,458,000	36,458,000	12,176,000	24,282,000	199.4
	7. 周産期医療増こう費	332,220,000	332,220,000	138,362,000	193,858,000	140.1
	8. リハビリテーション増こう費	100,683,000	100,683,000	51,282,000	49,401,000	96.3
	9. 小児医療増こう費	177,154,000	177,154,000	362,268,000	△ 185,114,000	△ 51.1
小計	2,684,235,000	2,684,235,000	2,023,445,000	660,790,000	32.7	
他会計 補助金	法第17条の3					
	1. 経営基盤強化対策経費	492,400,000	492,400,000	455,292,000	37,108,000	8.2
	2. 基礎年金拠出金に要する経費	215,530,000	215,530,000	332,390,000	△ 116,860,000	△ 35.2
	3. その他	35,245,000	808,391,000	53,001,000	755,390,000	1,425.2
その他 感染症指定医療機関運営事業費補助他	—	156,758,809	14,314,000	142,444,809	995.1	
小計	743,175,000	1,673,079,809	854,997,000	818,082,809	95.7	
収益的収入に係る繰入金合計		4,603,349,000	5,533,253,809	4,045,402,000	1,487,851,809	36.8
資本的収入	他会計 負担金 法第17条の2第1項第2号					
	1. 借入資本金償還金補給	1,628,822,000	1,708,811,000	2,486,432,000	△ 777,621,000	△ 31.3
	2. 建設改良費等	7,268,000	672,336,000	1,405,687,000	△ 733,351,000	△ 52.2
他会計 補助金 法第17条の3						
1. 企業債元金償還金	—	1,317,358,000	389,104,000	928,254,000	238.6	
資本的収入に係る繰入金合計		1,636,090,000	3,698,505,000	4,281,223,000	△ 582,718,000	△ 13.6
繰入金合計		6,239,439,000	9,231,758,809	8,326,625,000	905,133,809	10.9
備考	1床当たり繰入額 (病床数=2,354床)	—	2,351	1,719	632	36.8
	医業収益 (他会計負担金を除く。)に対する比率 (%)	—	14.8	11.1	3.7	33.3

(注) 病床数は平成21年度も、平成20年度と同じく2,354床である。

(注) 「備考」は、収益的収入に係るものである。

一般会計からの繰入総額は92億3,175万8,809円で、前年度に比較して9億513万3,809円(10.9%)増加している。

そのうち収益的収入として一般会計から繰り入れた額は55億3,325万3,809円で、前年度に比較して14億8,785万1,809円(36.8%)増となっている。

内訳で見ると、法第17条の2第1項第1号(その性質上、公営企業の収入をもって充てることが適当でない経費)の負担金が897万9,000円(0.8%)増加し、同項第2号(公営企業の性質上一般会計が一部負担する必要がある経費)の負担金交付金が6億6,079万円(32.7%)増加した。

法第17条の3(特別の理由により一般会計から補助するもの)等の補助金は8億1,808万2,809円(95.7%)増加している。

また、医業収益(他会計負担金を除く。)に対する一般会計からの繰入比率は14.8%で、前年度に比較して3.7ポイント上回っている。

ウ 病院別の経営状況

平成21年度における病院別の経営状況は、次のとおりである。（後掲別表2参照）

全ての病院において経営状況が改善しており、南部医療センター・こども医療センターを除く5病院で純利益を計上している。

(ア) 北部病院

総収益は59億1,201万1,090円で、前年度に比較して643万8,730円（0.1%）増加している。

医業収益は外来収益等の減により、前年度に比較して1.1%減少している。

医業外収益は、負担金交付金等の増により13.2%増加している。

一方、総費用は58億3,325万856円で、材料費等の減により前年度に比較して9,715万7,561円（1.6%）減少している。

この結果、当年度は7,876万234円の純利益となり、前年度の純損失2,483万6,057円に比較して1億359万6,291円改善している。

総収支比率は101.4%で、前年度に比較して1.8ポイント上回ったが、医業収支比率は95.7%で、前年度に比較して0.9ポイント下回っている。

(イ) 中部病院

総収益は128億7,387万4,128円で、前年度に比較して4億9,226万957円（4.0%）増加している。

医業収益は入院収益等の増により、前年度に比較して2.3%増加している。

医業外収益は、他会計補助金等の増により27.4%増加している。

一方、総費用は124億8,905万5,602円で、給与費等の増により前年度に比較して1億5,676万3,581円（1.3%）増加している。

この結果、当年度は3億8,481万8,526円の純利益となり、前年度の純利益4,932万1,150円に比較して3億3,549万7,376円の増加となっている。

総収支比率は103.1%で、前年度に比較して2.7ポイント上回り、医業収支比率も98.1%で、前年度に比較して0.9ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(ウ) 南部医療センター・こども医療センター

総収益は125億6,395万3,343円で、前年度に比較して7億6,208万423円（6.5%）増加している。

医業収益は、入院収益等の増により、前年度に比較して4.6%増加している。

医業外収益は、負担金交付金等の増により27.0%増加している。

一方、総費用は131億5,567万4,896円で、給与費等の減により前年度に比較して4億621万8,531円（3.0%）減少している。

この結果、当年度は5億9,172万1,553円の純損失となり、前年度の純損失17億6,002万507円に比較して11億6,829万8,954円改善している。

総収支比率は95.5%で、前年度に比較して8.5ポイント上回り、医業収支比率は92.0%で、前年度に比較して7.0ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(エ) 宮古病院

総収益は48億3,969万2,765円で、前年度に比較して3億3,723万5,427円(7.5%)増加している。

医業収益は、入院収益等の増により前年度に比較し6.7%増加している。

医業外収益は、負担金交付金等の増により8.3%増加している。

一方、総費用は46億1,504万9,838円で、材料費、経費等の増により前年度に比較し5,291万2,782円(1.2%)増加している。

この結果、当年度は2億2,464万2,927円の純利益となり、前年度の純損失5,967万9,718円に比較し2億8,432万2,645円改善している。

総収支比率は104.9%で、前年度に比較して6.2ポイント上回り、医業収支比率は94.0%で、前年度に比較して4.8ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(オ) 八重山病院

総収益は47億2,408万9,004円で、前年度に比較して457万4,649円(0.1%)増加している。

医業収益は、入院収益の減により、前年度に比較して1.1%減少している。

医業外収益は、負担金交付金等の増により11.7%増加している。

一方、総費用は46億2,242万1,095円で、材料費等の減により前年度に比較して1億3,011万7,122円(2.7%)減少している。

この結果、当年度は1億166万7,909円の純利益となり、前年度の純損失3,302万3,862円に比較して1億3,469万1,771円改善している。

総収支比率は102.2%で、前年度に比較して2.9ポイント上回り、医業収支比率も93.0%で、前年度に比較して1.6ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(カ) 精和病院

総収益は22億2,463万8,218円で、前年度に比較して4,563万8,396円(2.1%)増加している。

医業収益は、外来収益等の増により、前年度に比較して1.2%増加している。

医業外収益は、負担金交付金等の増により4.4%増加している。

総費用は20億9,185万5,549円で、給与費等の減により前年度に比較して9,883万3,744円(4.5%)減少している。

この結果、当年度は1億3,278万2,669円の純利益となり、前年度の純損失1,168万9,471円に比較して1億4,447万2,140円改善している。

総収支比率は106.3%で、前年度に比較して6.9ポイント上回り、医業収支比率も77.4%で、前年度に比較して3.8ポイント上回っており、経営状況は改善している。

エ 主な経営指標

平成21年度の主な経営指標は、表17のとおりである。

表17 経営指標

区 分		平成21年度	平成20年度	対前年度 増減	平成20年度 全国平均	
100床当たり入院患者数(人)		77.9	81.3	△ 3.4	73.8	
" 外来患者数(人)		94.0	97.5	△ 3.5	93.5	
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)		120.6	119.8	0.8	126.7	
職員1人1日当たり患者数(人)	医 師	入 院	4.1	4.2	△ 0.1	5.1
		外 来	4.9	5.1	△ 0.2	6.5
	看護部門	入 院	1.1	1.2	△ 0.1	1.1
		外 来	1.4	1.4	0.0	1.4
患者1人1日当たり診療収入、 医業収益、医業費用 (円)	診療収入	入 院	42,075	39,482	2,593.0	39,239
		外 来	10,779	10,113	666.0	11,444
	医業収益(A)		26,041	24,424	1,617.0	25,404
	医業費用(B)		28,058	27,229	829.0	30,060
差 引(A)-(B)		△ 2,017	△ 2,805	788.0	△ 4,656	
職員1人1日当たり診療収入(円)	医 師	225,954	219,187	6,767.0	276,622	
	看護部門	62,744	61,674	1,070.0	58,897	
薬品使用効率 (%) (薬品収入/薬品費用×100)		80.5	83.9	△ 3.4	104.4	
医業収益に対する職員給与費 (%)		64.1	65.7	△ 1.6	61.5	
100床当たり職員数(人)		108.4	113.7	△ 5.3	107.9	
1床当たり病院事業収益(千円)		18,706	17,659	1,047.0	18,867	
" 病院事業費用(千円)		18,414	18,603	△ 189.0	19,542	
" 病院事業損失(千円)		292	944	△ 652.0	675	
" 医業収益(千円)		16,343	15,940	403.0	15,508	
" 医業費用(千円)		17,609	17,770	△ 161.0	18,351	
" 医業損失(千円)		1,266	1,831	△ 565.0	2,843	
総収益対総費用比率 (%)		101.6	94.9	6.7	96.5	
医業収益対医業費用比率 (%)		92.8	89.7	3.1	84.5	
他会計繰入金対医業収益(他会計負担金を除く。)比率 (%)		14.8	11.1	3.7	24.6	
1床当たり繰入額(千円)		2,351	1,719	632.0	3,643	
他会計繰入金(収益的収入分)対標準財政規模比率 (%)		1.670	1.240	0.430	0.912	

(ア) 100床当たり患者数

入院は77.9人で全国平均の73.8人を上回り、外来は94.0人で全国平均の93.5人を上回っている。
外来入院患者比率は120.6%で、全国平均の126.7%を6.1ポイント下回っている。

(イ) 職員1人1日当たり患者数

入院患者数、外来患者数とも医師が全国平均を下回り、看護部門は全国平均と同人数である。

(ウ) 患者1人1日当たり診療収入

入院は全国平均を上回っており、外来は全国平均を下回っている。

また、患者1人1日当たり医業収益は全国平均を上回り、医業費用は全国平均を下回っている。また、医業損失は全国平均を下回っている。

(エ) 職員1人1日当たり診療収入

医師は全国平均を下回り、看護部門は上回っている。

(オ) 薬品使用効率

薬品使用効率は80.5%で、全国平均104.4%を23.9ポイント下回っている。

(カ) 100床当たり職員数

100床当たり職員数は108.4人で、全国平均の107.9人を0.5人上回っている。

医業収益に対する職員給与費の割合は64.1%で、全国平均61.5%を2.6ポイント上回っている。

(キ) 総収益対総費用比率

総収益対総費用比率は101.6%で、全国平均96.5%を5.1ポイント上回っている。

事業本体部分の収支比率である医業収益対医業費用比率は92.8%で、全国平均84.5%を8.3ポイント上回っている。

(ク) 医業収益（他会計負担金を除く）に占める他会計繰入金の比率

繰入金の比率は14.8%で、全国平均24.6%に比較して9.8ポイント下回っており、1床当たり繰入額は235万1,000円で、全国平均364万3,000円に比較して129万2,000円少ない。

県の標準財政規模に対する他会計繰入金の比率は1.670%となっており、全国平均の0.912%を上回っている。

(3) 剰余金計算書

ア 利益剰余金

表18 利益剰余金

区 分	金 額
	円
前年度未処理欠損金	23,878,358,528
前年度欠損金処理額	0
繰越欠損金年度末残高	23,878,358,528
当年度純利益	687,155,506
当年度未処理欠損金	23,191,203,022

前年度未処理欠損金が238億7,835万8,528円あり、当該欠損金は未処理のまま当年度に繰り越された。

当年度は6億8,715万5,506円の純利益を生じたため、当年度末の未処理欠損金は231億9,120万3,022円となっている。

イ 資本剰余金

表19 資本剰余金

区 分	前年度末残高	当年度発生高	当年度処分額	当年度末残額
	円	円	円	円
受贈財産評価額	937,999,193	741,300	126,000	938,614,493
寄附金	1,883,070	9,273,600	421,281	10,735,389
他会計負担金	10,082,360,247	2,384,372,285	98,323,996	12,368,408,536
他会計補助金	7,222,188,344	1,317,358,000	0	8,539,546,344
国庫補助金	15,716,539,738	19,710,000	463,974,081	15,272,275,657
計	33,960,970,592	3,731,455,185	562,845,358	37,129,580,419

当年度末の資本剰余金残高は371億2,958万419円は、前年度末残高339億6,097万592円に、当年度発生高37億3,145万5,185円を加え、当年度処分額5億6,284万5,358円を差し引いたものである。

(ア) 当年度発生高

当年度発生高は、固定資産の取得に充てるために受け入れた資金等の増加分を示すものである。

受贈財産評価額の74万1,300円は、器械備品の寄贈等によるものである。

寄附金は927万3,600円を受け入れた。

他会計負担金の23億8,437万2,285円は、一般会計繰出金受け入れによるものである。

他会計補助金の13億1,735万8,000円は、企業債元金償還金に係る補助金の受け入れによるものである。

国庫補助金1,971万円は、施設整備に係る補助金の受け入れによるものである。

(イ) 当年度処分額

当年度は、老朽化した医療機器等を除却したことから、これら固定資産の取得財源の一部である他会計負担金、国庫補助金等の資本剰余金を地方公営企業法施行令第24条の2の規定により取り崩している。

(4) 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金231億9,120万3,022円は、全額翌年度へ繰り越している。

表20 欠損金処理計算書

区 分	金 額
	円
当年度未処理欠損金	23,191,203,022
欠損金処理額	0
翌年度繰越欠損金	23,191,203,022

(5) 貸借対照表

ア 財政状態

事業の財政状態は、表21のとおりである。

表21 比較貸借対照表

区 分 科 目	平成21年度		平成20年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
固 定 資 産	48,812,637,814	80.8	49,362,979,999	82.3	△ 550,342,185	△ 1.1
有 形 固 定 資 産	48,800,034,270	80.8	49,350,376,455	82.4	△ 550,342,185	△ 1.1
土 地	4,278,549,977	7.1	4,278,549,977	7.1	0	0.0
建 物	47,038,026,284	77.8	47,029,836,284	78.4	8,190,000	0.0
建物減価償却累計額	△ 11,972,421,025	△ 19.8	△ 10,955,269,841	△ 18.2	△ 1,017,151,184	9.3
構 築 物	1,908,374,523	3.2	1,897,336,521	3.2	11,038,002	0.6
構築物減価償却累計額	△ 764,666,972	△ 1.3	△ 692,542,614	△ 1.2	△ 72,124,358	10.4
器 械 備 品	19,618,032,848	32.5	18,716,087,675	31.2	901,945,173	4.8
機械備品減価償却累計額	△ 11,337,603,026	△ 18.8	△ 10,943,088,151	△ 18.2	△ 394,514,875	3.6
車 両	42,482,081	0.1	42,696,359	0.1	△ 214,278	△ 0.5
車両減価償却累計額	△ 27,359,144	0.0	△ 25,329,755	0.0	△ 2,029,389	8.0
建設仮勘定	14,518,724	0.0	0	0.0	14,518,724	皆増
その他有形固定資産	2,100,000	0.0	2,100,000	0.0	0	0.0
その他有形固定資産減価償却累計額	0	0.0	0	0.0	0	-
無 形 固 定 資 産	12,603,544	0.0	12,603,544	0.0	0	0.0
電 話 加 入 権	8,395,344	0.0	8,395,344	0.0	0	0.0
モ デ ム 加 入 権	4,208,200	0.0	4,208,200	0.0	0	0.0
流 動 資 産	10,746,500,558	17.7	9,757,860,026	16.3	988,640,532	10.1
現 金 ・ 預 金	1,328,197,284	2.2	796,196,965	1.3	532,000,319	66.8
未 収 金	8,660,882,391	14.3	8,304,170,308	13.8	356,712,083	4.3
有 価 証 券	0	0.0	0	0.0	0	-
貯 蔵 品	747,401,750	1.2	648,743,837	1.1	98,657,913	15.2
前 払 費 用	1,767,523	0.0	760,126	0.0	1,007,397	132.5
前 払 金	3,251,610	0.0	2,988,790	0.0	262,820	8.8
その他流動資産	5,000,000	0.0	5,000,000	0.0	0	0.0
繰 延 勘 定	839,178,571	1.4	956,328,623	1.6	△ 117,150,052	△ 12.2
控除対象外消費税額	839,178,571	1.4	956,328,623	1.6	△ 117,150,052	△ 12.2
資 産 合 計	60,398,316,943	100.0	60,077,168,648	100.0	321,148,295	0.5

区 分 科 目	平成21年度		平成20年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
固 定 負 債	7,073,398,819	11.7	7,017,902,529	11.8	55,496,290	0.8
企 業 債	2,980,000,000	4.9	2,980,000,000	5.0	0	0.0
他 会 計 借 入 金	4,000,000,000	6.6	4,000,000,000	6.7	0	0.0
引 当 金	93,398,819	0.2	37,902,529	0.1	55,496,290	146.4
流 動 負 債	5,737,217,493	9.5	6,863,847,807	11.4	△ 1,126,630,314	△ 16.4
一 時 借 入 金	1,080,000,000	1.8	2,900,000,000	4.8	△ 1,820,000,000	△ 62.8
未 払 金	4,387,472,960	7.3	3,723,300,355	6.2	664,172,605	17.8
前 受 金	0	0.0	0	0.0	0	-
そ の 他 流 動 負 債	269,744,533	0.4	240,547,452	0.4	29,197,081	12.1
負 債 合 計	12,810,616,312	21.1	13,881,750,336	23.1	△ 1,071,134,024	△ 7.7
資 本 金	33,649,323,234	55.7	36,112,806,248	60.1	△ 2,463,483,014	△ 6.8
自 己 資 本 金	1,878,584,732	3.1	1,878,584,732	3.1	0	0.0
借 入 資 本 金	31,770,738,502	52.6	34,234,221,516	57.0	△ 2,463,483,014	△ 7.2
企 業 債	31,770,738,502	52.6	34,234,221,516	57.0	△ 2,463,483,014	△ 7.2
剰 余 金	13,938,377,397	23.1	10,082,612,064	16.9	3,855,765,333	38.2
資 本 剰 余 金	37,129,580,419	61.5	33,960,970,592	56.6	3,168,609,827	9.3
受 贈 財 産 評 価 額	938,614,493	1.6	937,999,193	1.6	615,300	0.1
寄 附 金	10,735,389	0.0	1,883,070	0.0	8,852,319	470.1
他 会 計 負 担 金	12,368,408,536	20.5	10,082,360,247	16.8	2,286,048,289	22.7
他 会 計 補 助 金	8,539,546,344	14.1	7,222,188,344	12.0	1,317,358,000	18.2
国 庫 補 助 金	15,272,275,657	25.3	15,716,539,738	26.2	△ 444,264,081	△ 2.8
利 益 剰 余 金	△ 23,191,203,022	△ 38.4	△ 23,878,358,528	△ 39.7	687,155,506	△ 2.9
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	23,191,203,022	38.4	23,878,358,528	39.7	△ 687,155,506	△ 2.9
資 本 合 計	47,587,700,631	78.7	46,195,418,312	76.9	1,392,282,319	3.0
負 債 資 本 合 計	60,398,316,943	100.0	60,077,168,648	100.0	321,148,295	0.5

(注) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

当年度末の資産合計及び負債資本合計は、それぞれ603億9,831万6,943円で、前年度に比較して0.5%増加している。

資産は、建物及び機械備品の減価償却額の増等により固定資産が減少したが、流動資産の増加により、資産合計は増加している。

負債は、未払金が増加したが、一時借入金の減少により、負債合計は前年度に比較して7.7%減少し、128億1,061万6,312円となっている。

資本金は減少したが、剰余金の増加により、資本合計は前年度に比較して3.0%増加し、475億8,770万631円となっている。

各科目の動向は、次のとおりである。

(ア) 固定資産

固定資産は488億1,263万7,814円となり、前年度に比較して5億5,034万2,185円(1.1%)減少している。

これは主として、器械備品で、医療機器の購入等により5億743万298円増となったが、建物で、減価償却が進んだことにより10億896万1,184円の減となったことによるものである。

(イ) 流動資産

流動資産は107億4,650万558円で、前年度に比較して9億8,864万532円(10.1%)増加している。

これは主として、現金・預金が5億3,200万319円(66.8%)増加したこと、未収金が3億5,671万2,083円(4.3%)増加したことによるものである。

(ウ) 繰延勘定

繰延勘定は8億3,917万8,571円で、前年度に比較して1億1,715万52円(12.2%)減少している。

(エ) 固定負債

固定負債は70億7,339万8,819円で、前年度に比較して5,549万6,290円(0.8%)増加している。

(オ) 流動負債

流動負債は57億3,721万7,493円で、前年度に比較して11億2,663万314円(16.4%)減少している。

これは主として、未払金が6億6,417万2,605円増となったが、一時借入金で18億2,000万円の減となったことによるものである。

(カ) 資本金

資本金は336億4,932万3,234円で、前年度に比較して24億6,348万3,014円(6.8%)減少している。

これは、企業債が前年度に比較して24億6,348万3,014円(7.2%)減少したことによるものである。

(キ) 剰余金

剰余金は139億3,837万7,397円で、前年度に比較して38億5,576万5,333円(38.2%)増加している。

これは、資本剰余金が31億6,860万9,827円(9.3%)の増となったこと、当年度未処理欠損金が6億8,715万5,506円減少したことによるものである。

イ 一般会計からの繰入金

資本的収入として、一般会計から繰り入れた額は、借入資本金償還金補給17億881万1,000円、建設改良費等6億7,233万6,000円、企業債元金償還金13億1,735万8,000円、計36億9,850万5,000円で、前年度に比較して5億8,271万8,000円(13.6%)減少している。

表22 一般会計からの繰入状況

区分	繰入の根拠	平成21年度		平成20年度	対前年度比較	
		繰入基準額	決算額(A)	決算額(B)	(A) - (B)	増減率
他会計負担金	法第17条の2第1項第2号	円	円	円	円	%
	借入資本金償還金補給	1,628,822,000	1,708,811,000	2,486,432,000	△ 777,621,000	△ 31.3
	建設改良費等	7,268,000	672,336,000	1,405,687,000	△ 733,351,000	△ 52.2
他会計補助金	法第17条の3					
	企業債元金償還金	—	1,317,358,000	389,104,000	928,254,000	238.6
合計		1,636,090,000	3,698,505,000	4,281,223,000	△ 582,718,000	△ 13.6

3 資金収支について

資金収支の状況は、別表5「資金収支表」のとおりである。

当年度は、受入れ資金総額が、前年度からの繰越金7億9,619万6,965円を含めて550億1,536万2,304円、支払総額が536億8,716万5,020円で、差引き13億2,819万7,284円の残高となっている。

この残高の内訳は、手持ち現金が274万8,729円、普通預金が13億2,544万8,555円で、普通預金の残高は取扱金融機関の残高証明書と一致している。

付 表

別表1

経営分析比率表

項目	算式	平成21年度		20年度 比率	対前年度 増減	20年度 全国平均	
		計算内容	度(単位:円)				
資産及び資本構成比率	(1)自己資本構成比率	自己資本(注1) 総資本(注2)	× 100 1,878,584,732 + 13,938,377,397	26.2%	6.3	28.1%	
	(2)固定資産対長期資本比率	固定資産 長期資本(注3)	× 100 48,812,637,814	89.3%	△ 3.5	86.4%	
	(3)固定比率	固定資産 自己資本	× 100 48,812,637,814	308.6%	△ 104.1	281.2%	
	(4)流動比率	流動資産 流動負債	× 100 10,746,500,558	187.3%	45.1	219.3%	
	(5)当座比率	現金預金+未収金 流動負債	× 100 1,328,197,284 + 8,660,882,391	174.1%	41.5	209.0%	
	(6)自己資本回転率	医業収益 (期首自己資本+期末自己資本)÷2	回 38,472,273,072	2.77	△ 0.65	1.64	
回転率	(7)固定資産回転率	医業収益 (期首固定資産+期末固定資産)÷2	回 38,472,273,072	0.78	0.04	0.59	
	(8)流動資産回転率	医業収益 (期首流動資産+期末流動資産)÷2	回 38,472,273,072	3.75	0.00	2.56	
損益に関する各種比率	(9)未収金回転率	医業収益 (期首未収金+期末未収金)÷2	回 38,472,273,072	4.54	△ 0.09	5.76	
	(10)総資本利益率	当年度純利益 (期首総資本+期末総資本)÷2	× 100 687,155,506	1.14%	4.75	0.57%	
	(11)総収益対総費用比率	総収益 総費用	× 100 44,034,395,889	101.6%	6.7	96.5%	
	(12)医業収益対医業費用比率	医業収益 医業費用	× 100 38,472,273,072	92.8%	3.1	84.5%	
	(13)職員一人一日当り収入(医師)	入院外来収益 年延職員数	円 164,532	224,170	4,983	276,622	
	(14)職員一人一日当り収入(看護部門)	入院外来収益 年延職員数	円 36,883,164,649	63,076	1,402	58,897	
	(15)患者一人一日当り薬品費	薬品費(注4) 年延入院外来患者数	円 3,501,702,351	2,279	△ 234	3,391	
	(16)医業収益に対する医療材料費の割合	医療材料費(注5) 医業収益	× 100 8,560,287,929	22.3%	△ 1.2	26.9%	
	(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金 = 1,878,584,732 + 13,938,377,397 = 15,816,962,129円						
	2 総資本 = 負債資本合計 = 60,398,316,943円						
3 長期資本 = 資本金 + 剰余金 + 固定負債 = 33,649,323,234 + 13,938,377,397 + 7,073,398,819 = 54,661,099,450円							
4 薬品費(投薬、注射にかかる薬品費で検査試薬、造影剤等を除いた薬品費) = 5,051,600,803 - 1,549,898,452 = 3,501,702,351円							
5 医療材料費 = 材料費 - 給食材料費 = 8,859,592,275 - 299,304,346 = 8,560,287,929円							

病院別比較損益計算書

(単位:円、%)

別表2

区分	県立病院計			北部病院			中部病院			仲率
	平成21年度決算	増減	仲率	平成21年度決算	増減	仲率	平成21年度決算	増減	仲率	
病院事業収益	44,034,395,889	2,465,574,264	5.9	5,912,011,090	6,438,730	0.1	12,873,874,128	12,381,613,171	492,260,957	4.0
医療収益	38,472,273,072	960,395,261	2.5	5,361,839,357	△ 57,178,084	△ 1.1	11,819,245,032	11,548,310,271	270,934,761	2.3
入院収益	28,177,035,362	581,302,528	2.1	3,755,122,277	△ 1,408,769	△ 0.0	9,138,019,772	8,992,795,687	145,224,085	1.6
外来収益	8,105,943,995	195,526,398	2.5	1,384,188,278	△ 64,515,271	△ 4.5	2,199,436,480	2,099,939,443	99,497,037	4.7
診療所収益	600,185,292	43,024,814	7.7	115,779,954	6,820,305	6.3	27,607,782	24,274,017	3,333,765	13.7
その他医療収益	1,589,108,423	130,541,521	8.9	106,748,848	1,925,651	1.8	454,180,998	431,301,124	22,879,874	5.3
医療外収益	5,435,786,168	1,413,612,648	35.1	548,169,243	63,897,481	13.2	1,052,528,055	826,041,772	226,484,283	27.4
受取利息配当金	2,718,273	2,718,273	皆増	0	0	—	1,084,107	0	1,084,107	皆増
他会計補助金	1,673,079,809	818,082,809	95.7	127,846,995	14,258,995	12.6	373,483,765	232,098,000	141,385,765	60.9
国庫補助金	536,365,160	△ 19,564,663	△ 3.5	66,005,000	72,709,361	△ 9.2	116,393,000	141,783,380	△ 25,390,380	△ 17.9
負担金交付金	2,684,235,000	660,790,000	32.7	280,462,000	39,039,000	16.2	285,390,000	189,180,000	96,210,000	50.9
その他医療外収益	539,387,926	△ 48,413,771	△ 8.2	73,855,248	17,303,847	30.6	276,175,183	262,980,392	13,194,791	5.0
特別利益	126,336,649	101,566,355	410.0	2,002,490	△ 280,667	△ 12.3	2,103,041	7,261,128	△ 5,158,087	△ 71.0
固定資産売却益	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
過年度損益修正益	125,833,649	101,072,879	408.2	2,002,490	△ 271,143	△ 11.9	1,600,041	7,261,128	△ 5,661,087	△ 78.0
その他特別利益	503,000	493,476	5181.4	0	9,524	皆減	503,000	0	503,000	皆増
病院事業費用	43,347,240,383	△ 444,004,434	△ 1.0	5,833,250,856	5,930,408,417	△ 1.6	12,489,055,602	12,332,292,021	156,763,581	1.3
医療費用	41,452,547,052	△ 478,346,693	△ 0.9	5,604,102,307	5,608,503,157	△ 0.1	12,043,753,876	11,878,378,541	165,375,335	1.4
給与費	24,810,095,338	33,625,587	0.1	3,450,281,323	149,884,121	4.5	7,008,143,317	6,720,777,567	287,365,750	4.3
材料費	8,859,582,275	△ 268,440,917	△ 2.9	1,314,296,657	△ 104,375,184	△ 7.4	2,862,464,747	2,896,294,142	△ 33,829,395	△ 1.2
経費	5,336,560,967	△ 68,864,792	△ 1.4	700,322,993	△ 41,456,736	△ 5.6	1,553,755,690	1,621,807,502	△ 68,051,812	△ 4.2
減価償却費	2,283,078,473	2,408,501	4.3	6,803,932	6,747,960	0.8	541,746,084	566,646,303	△ 24,900,219	△ 4.4
資産減耗費	105,327,458	940,354	0.9	12,135,867	14,617,258	△ 17.0	47,613,834	41,375,910	6,237,924	15.1
研究研修費	1,712,548,383	△ 152,309,996	△ 8.2	209,986,094	△ 95,468,782	△ 31.3	436,041,397	438,589,099	△ 2,547,702	△ 0.6
医療外費用	778,681,515	△ 160,255,303	△ 17.1	77,763,822	183,781,239	△ 57.7	185,038,961	191,091,003	△ 6,052,042	△ 3.2
支払利息	131,744,828	4,945,725	3.9	9,464,219	9,678,730	△ 2.2	25,465,354	24,172,536	1,292,818	5.3
繰延勘定償却	802,122,040	2,999,582	0.4	122,758,053	10,763,146	9.6	225,537,082	223,325,560	2,211,522	1.0
雑損失	182,144,948	86,652,255	90.7	19,162,455	2,712,071	16.5	9,260,329	15,324,381	△ 6,064,052	△ 39.6
特別損失	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
固定資産売却損	95,492,693	86,652,255	90.7	19,162,455	2,712,071	16.5	9,260,329	15,324,381	△ 6,064,052	△ 39.6
過年度損益修正損	△ 2,222,423,192	2,909,578,698	△ 130.9	78,760,234	△ 24,836,057	△ 417.1	384,818,526	49,321,150	335,497,376	680.2
純損益	101.6	94.9	6.7	101.4	99.6	—	103.1	100.4	2.7	—
総収支比率	92.8	89.7	3.1	95.7	96.6	—	98.1	97.2	0.9	—
医療収支比率										

病院別比較損益計算書

(単位:円、%)

別表2

区分	南部医療センター			子ども医療センター			富古病院			八重山病院			伸率
	平成21年度決算	平成20年度決算	増減	伸率	平成21年度決算	平成20年度決算	増減	伸率	平成21年度決算	平成20年度決算	増減	伸率	
病院事業収益	12,563,953,343	11,801,872,920	762,080,423	6.5	4,839,692,765	4,502,457,338	337,235,427	7.5	4,724,089,004	4,719,514,355	4,574,649	0.1	
医療収益	11,336,409,574	10,835,660,633	500,728,941	4.6	4,210,780,445	3,946,437,665	264,342,780	6.7	4,163,900,414	4,210,381,354	△ 46,480,940	△ 1.1	
入院収益	8,197,425,713	7,842,855,222	354,570,491	4.5	3,109,270,010	2,886,694,074	222,575,936	7.7	2,771,840,935	2,907,283,608	△ 135,442,673	△ 4.7	
外来収益	2,100,155,566	2,017,305,876	82,849,690	4.1	908,837,188	888,833,169	20,004,019	2.3	1,165,488,299	1,118,619,999	46,868,300	4.2	
診療所収益	243,333,876	231,914,875	11,419,001	4.9	71,346,898	60,482,027	10,864,871	18.0	142,116,782	131,529,910	10,586,872	8.0	
その他医療収益	795,494,419	743,604,660	51,889,759	7.0	121,326,349	110,428,395	10,897,954	9.9	84,454,398	52,947,837	31,506,561	59.5	
医療外収益	1,224,989,900	964,815,094	260,174,806	27.0	601,081,017	555,104,788	45,976,229	8.3	556,378,731	498,265,164	58,113,567	11.7	
受取利息配当金	0	0	0	-	110,849	0	110,849	皆増	0	0	0	-	
他会計補助金	129,107,525	229,675,000	△ 100,567,475	△ 43.8	105,453,337	94,716,000	10,737,337	11.3	101,685,187	92,139,000	9,546,187	10.4	
国庫補助金	204,973,000	195,951,040	9,021,960	4.6	42,058,280	27,679,911	14,378,369	51.9	82,730,000	75,362,440	7,367,560	9.8	
負担金交付金	745,319,000	322,885,000	422,434,000	130.8	442,798,000	421,047,000	21,751,000	5.2	357,439,000	313,325,000	44,114,000	14.1	
その他医療外収益	145,590,375	216,304,054	△ 70,713,679	△ 32.7	10,660,551	11,661,877	△ 1,001,326	△ 8.6	14,524,544	17,438,724	△ 2,914,180	△ 16.7	
特別利益	2,553,869	1,377,193	1,176,676	85.4	27,831,303	914,865	26,916,418	2942.1	3,809,859	10,867,837	△ 7,057,978	△ 64.9	
固定資産売却益	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-	
過年度損益修正益	2,553,869	1,377,193	1,176,676	85.4	27,831,303	914,865	26,916,418	2942.1	3,809,859	10,867,837	△ 7,057,978	△ 64.9	
その他特別利益	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-	
病院事業費用	13,155,674,896	13,561,893,427	△ 406,218,531	△ 3.0	4,615,049,838	4,562,137,056	52,912,782	1.2	4,622,421,095	4,752,536,217	△ 130,114,122	△ 2.7	
医療費用	12,323,009,340	12,752,241,638	△ 429,232,298	△ 3.4	4,480,134,601	4,425,885,897	54,248,704	1.2	4,478,398,434	4,605,399,395	△ 127,000,902	△ 2.8	
給与費	6,674,647,889	6,945,059,257	△ 270,411,368	△ 3.9	2,914,360,558	2,921,834,683	△ 7,474,125	△ 0.3	2,910,860,442	2,988,738,017	△ 47,877,575	△ 1.6	
材料費	2,762,902,602	2,810,326,789	△ 47,424,187	△ 1.7	827,655,132	786,241,823	41,413,309	5.3	794,080,320	925,246,220	△ 131,165,900	△ 14.2	
経費	1,571,639,507	1,666,479,604	△ 94,840,097	△ 5.7	579,708,844	550,309,608	29,399,236	5.3	616,951,930	556,089,121	60,862,809	10.9	
減価償却費	1,285,699,269	1,297,349,779	△ 11,650,510	△ 0.9	141,293,779	154,616,540	△ 13,322,761	△ 8.6	139,666,838	149,030,845	△ 9,364,007	△ 6.3	
資産減耗費	6,679,055	9,805,298	△ 3,126,243	△ 31.9	7,541,905	3,558,638	3,983,267	111.9	5,740,461	3,774,137	1,966,324	52.1	
研究研修費	21,441,018	23,220,941	△ 1,779,923	△ 7.7	9,574,383	9,324,605	249,778	2.7	11,118,443	12,520,996	△ 1,402,553	△ 11.2	
医療外費用	725,398,703	791,287,722	△ 65,889,019	△ 8.3	124,036,164	127,138,161	△ 3,101,997	△ 2.4	118,574,348	124,186,256	△ 5,611,908	△ 4.5	
支払利息	398,962,831	422,318,517	△ 23,355,686	△ 5.5	49,652,710	58,308,200	△ 8,655,490	△ 14.8	41,654,044	43,898,120	△ 2,244,076	△ 5.1	
繰延勘定償却	85,413,159	82,214,754	3,198,405	3.9	4,629,121	3,618,206	1,010,915	27.9	5,310,184	5,678,417	△ 368,233	△ 6.5	
雑損失	241,022,713	286,754,451	△ 45,731,738	△ 15.9	69,754,333	65,211,755	4,542,578	7.0	71,610,120	74,609,719	△ 2,999,599	△ 4.0	
特別損失	107,266,853	18,364,067	88,902,786	484.1	10,879,073	9,112,998	1,766,075	19.4	25,448,313	22,952,625	2,495,688	10.9	
固定資産売却損	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-	
過年度損益修正損	107,266,853	18,364,067	88,902,786	484.1	10,879,073	9,112,998	1,766,075	19.4	25,448,313	22,952,625	2,495,688	10.9	
純損益	△ 591,721,553	△ 1,760,020,507	1,168,298,954	△ 66.4	224,642,927	△ 59,679,718	284,322,645	△ 476.4	101,687,909	△ 33,023,862	134,691,771	△ 407.9	
総収支比率	95.5	87.0	8.5	-	104.9	98.7	6.2	-	102.2	99.3	2.9	-	
医療収支比率	92.0	85.0	7.0	-	94.0	89.2	4.8	-	93.0	91.4	1.6	-	

別表2 病院別比較損益計算書 (単位:円,%)

区分	精和病院			院			院事業局		
	平成21年度決算	平成20年度決算	増減	仲率	平成21年度決算	平成20年度決算	増減	仲率	
病院事業収益	2,224,638,218	2,178,999,822	45,638,396	2.1	896,137,341	78,791,659	817,345,682	1037.4	
医療収益	1,580,089,250	1,562,050,447	18,038,803	1.2	9,000	0	9,000	皆増	
入院収益	1,205,356,655	1,209,573,197	△ 4,216,542	△ 0.3	0	0	0	—	
外来収益	347,838,184	337,015,561	10,822,623	3.2	0	0	0	—	
診療所収益	0	0	0	—	0	0	0	—	
その他医療収益	26,894,411	15,461,689	11,432,722	73.9	9,000	0	9,000	皆増	
医療外収益	642,138,510	615,194,467	26,944,043	4.4	810,502,712	78,480,473	732,022,239	932.7	
受取利息配当金	219,326	0	219,326	皆増	1,303,991	0	1,303,991	皆増	
他会計補助金	67,712,000	72,508,000	△ 4,796,000	△ 6.6	767,791,000	20,273,000	747,518,000	3687.3	
国庫補助金	186,880	440,750	△ 253,870	△ 57.6	24,019,000	42,002,941	△ 17,983,941	△ 42.8	
負担金交付金	572,325,000	535,585,000	36,740,000	6.9	502,000	0	502,000	皆増	
その他医療外収益	1,695,304	6,660,717	△ 4,965,413	△ 74.5	16,886,721	16,204,532	682,189	4.2	
特別利益	2,410,458	1,754,908	655,550	37.4	85,625,629	311,186	85,314,443	27415.9	
固定資産売却益	0	0	0	—	0	0	0	—	
過年度損益修正益	2,410,458	1,754,908	655,550	37.4	85,625,629	311,186	85,314,443	27415.9	
その他特別利益	0	0	0	—	0	0	0	—	
病院事業費用	2,091,855,549	2,190,689,293	△ 98,833,744	△ 4.5	539,932,547	461,286,386	78,646,161	17.0	
医療費用	2,041,901,587	2,121,826,878	△ 79,925,291	△ 3.8	481,246,907	438,658,298	42,588,609	9.7	
給与費	1,521,271,658	1,611,065,021	△ 89,793,363	△ 5.6	330,530,151	318,598,004	11,932,147	3.7	
材料費	298,212,817	291,252,407	6,960,410	2.4	0	0	0	—	
経費	163,820,839	158,104,821	5,716,018	3.6	150,361,164	120,006,008	30,355,156	25.3	
減価償却費	54,410,968	58,010,631	△ 3,599,663	△ 6.2	0	0	0	—	
資産減耗費	1,096,984	120,890	976,094	807.4	0	0	0	—	
研究研修費	3,088,321	3,273,108	△ 184,787	△ 5.6	355,592	54,286	301,306	555.0	
医療外費用	49,611,497	67,218,541	△ 17,607,044	△ 26.2	48,900,180	10,983,724	37,916,456	345.2	
支払利息	24,897,998	38,827,653	△ 13,929,655	△ 35.9	711,149	712,086	△ 937	△ 0.1	
繰延固定償却	1,462,791	1,436,460	26,331	1.8	0	0	0	—	
雑損失	23,250,708	26,954,428	△ 3,703,720	△ 13.7	48,189,031	10,271,638	37,917,393	369.1	
特別損失	342,465	1,643,874	△ 1,301,409	△ 79.2	9,785,460	11,644,364	△ 1,858,904	△ 16.0	
固定資産売却損	0	0	0	—	0	0	0	—	
過年度損益修正損	342,465	1,643,874	△ 1,301,409	△ 79.2	9,785,460	11,644,364	△ 1,858,904	△ 16.0	
純損益	132,782,669	△ 11,689,471	144,472,140	△ 1235.9	356,204,794	△ 382,494,727	738,699,521	△ 193.1	
総収支比率	106.3	99.5	6.9	—	166.0	17.1	148.9	—	
医療収支比率	77.4	73.6	3.8	—	0.0	0.0	0.0	—	

別表3

病院別経営指標

区	分	県立病院計		北部病院		中部病院		医療センター		宮古病院		八重山病院		精和病院		平成20年度全国平均			
		平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	全事業	黒字病院	赤字病院
病床利用率(%)		77.9	81.3	81.6	84.3	88.5	92.5	85.0	92.5	64.6	65.1	65.7	69.9	76.0	76.2	74.0	79.3	71.8	
	1日平均患者数	1,835	1,915	267	288	487	527	369	416	254	260	230	239	228	226	239	241	237	
職員1人1日 当たり患者数	外来(人)	3,351	3,474	574	596	830	858	759	771	465	488	609	655	115	106	440	398	461	
	医師	入院(人)	4.1	4.2	5.2	6.0	3.2	3.3	2.5	3.1	6.5	6.4	4.7	5.6	28.5	21.5	5.1	5.0	5.2
		外来(人)	4.9	5.1	7.3	8.3	3.6	3.6	3.4	3.8	7.8	8.0	8.2	10.2	9.5	6.8	6.5	5.8	6.9
	看護師	入院(人)	1.1	1.2	1.1	1.4	1.1	1.2	0.9	0.9	1.5	1.5	1.2	1.2	1.8	1.9	1.1	1.1	1.1
外来(人)		1.4	1.4	1.6	1.9	1.2	1.3	1.2	1.2	1.8	1.9	2.2	2.3	0.6	0.6	1.4	1.3	1.4	
外来入院患者比率(%)		120.6	119.8	142.0	138.6	112.6	108.9	135.8	124.1	120.8	125.8	174.7	183.6	33.2	31.4	126.7	115.6	131.9	
	患者1人1日 当たり診療収入	42,075	39,482	38,574	35,451	51,416	48,385	60,864	52,438	33,545	29,141	33,004	32,348	14,479	13,573	39,239	40,347	38,718	
患者1人1日 当たり薬品費(円)	入院(円)	10,779	10,113	10,851	10,252	11,129	9,943	12,808	10,752	8,751	8,335	8,912	8,435	12,581	11,937	11,444	12,356	11,068	
	外来(円)	2,370	2,513	2,246	2,354	2,569	2,840	3,690	3,053	1,503	1,324	1,256	1,708	2,096	2,034	3,391	3,838	3,196	
薬品使用効率率(%)		80.5	83.9	72.4	113.2	72.9	120.2	72.0	110.2	104.2	122.3	100.0	111.7	118.3	118.8	104.4	103.7	104.8	
医薬収益に対する 材料費(%)		22.3	23.5	23.5	24.0	23.4	27.1	24.4	26.4	18.4	20.2	18.0	21.0	15.6	16.0	26.9	26.9	26.9	
医薬収益に対する 職員給与費(%)		64.1	65.7	64.8	62.9	59.9	59.3	59.5	66.3	69.1	74.9	70.4	69.5	96.7	110.4	61.5	59.2	62.6	
平均入院日数(日)		15.5	15.8	14.5	14.6	12.4	12.4	13.3	13.6	17.3	17.3	12.5	13.9	244.2	210.1	18.3	17.8	18.5	

別表4-1

資金運用表

(単位：円)

資金の使途		資金の源泉	
項目	金額	項目	金額
器械備品の取得	2,333,196,778	建物の減少	1,008,961,184
建設仮勘定の増加	14,518,724	構築物の減少	61,086,356
繰延勘定の増加	15,931,671	車両の減少	1,162,089
企業債の償還	3,025,983,014	受贈財産評価額の増加	741,300
正味運転資本の増加	2,115,270,846	寄付金の増加	8,852,319
		他会計負担金の増加	2,286,469,570
		他会計補助金の増加	1,317,358,000
		国庫補助金の増加	19,710,000
		固定資産除却費	41,960,977
		減価償却費	1,321,702,614
		繰延勘定償却	131,744,828
		企業債(借入資本金)	562,500,000
		修繕引当金の増加	55,496,290
		当年度純利益	687,155,506
合計	7,504,901,033	合計	7,504,901,033

別表4-2

正味運転資本増減明細書

(単位：円)

増		減	
項目	金額	項目	金額
現金預金の増加	532,000,319	未払金の増加	664,172,605
未収金の増加	356,712,083	その他流動負債の増加	29,197,081
貯蔵品の増加	98,657,913	正味運転資本の増加	2,115,270,846
前払費用の増加	1,007,397		
前払金の増加	262,820		
一時借入金 of 減少	1,820,000,000		
合計	2,808,640,532	合計	2,808,640,532

別表5

資金収支表

(単位：円)

項目	金額	備考
(収入)		医業収益内訳
1 前期繰越	796,196,965	1. 入院収益 22,910,547,942
2 医業収益	30,703,337,596	2. 外来収益 6,895,948,584
3 医業外収益	504,951,191	3. 診療所収益 512,740,812
4 特別利益	12,954,334	4. その他医業収益 384,100,258
5 寄附金	9,273,600	
6 一般会計繰入金	9,075,000,000	
7 国庫補助金	533,696,000	
8 企業債	562,500,000	
9 長期借入金	0	
10 一時借入金	3,750,000,000	
11 預り諸税等	2,677,959,296	
12 前年度未収金	6,338,700,933	
13 その他(戻入金等)	50,792,389	
14 その他投資	0	
15 固定資産売却代金	0	
収入合計	55,015,362,304	
(支出)		医業費用内訳
1 医業費用	36,384,709,743	1. 給与費 23,383,784,543
2 医業外費用	871,322,787	2. 材料費 7,972,423,565
3 特別損失	△ 76,423,969	3. 経費 4,926,842,402
4 一時借入金償還金	5,570,000,000	4. 資産減耗費 0
5 長期借入金償還金	0	5. 研究研修費 101,659,233
6 企業債償還金	3,025,983,014	
7 建設改良費	1,584,207,014	
8 預り諸税等	2,648,148,000	
9 前年度未払金	3,633,501,782	
10 前払金	31,029,300	
11 前払費用	836,280	
12 未払費用	0	
13 その他(払戻金等)	13,851,069	
14 電話加入権	0	
支出合計	53,687,165,020	
収支差引	1,328,197,284	1. 現金 2,748,729 2. 普通預金 1,325,448,555